

地域医療連携室だより

「杜の風」

第 22 号

2019. 8. 1

編集／発行

北秋田市民病院 地域医療連携室

〒018-4221

北秋田市下杉字上清水沢16-29

TEL(直通)0186-62-7011

FAX(専用)0186-78-9508

e-mail : renkei@kitaakita-hp.jp



写真：十二湖 青池

も く じ

表紙	1
患者サポートセンター代表挨拶	2
新入医局員の紹介	3
患者サポートセンター紹介	4
私のつぶやき、連携室実績	5
診療科一覧、編集後記	6



患者サポートセンター 開設にあたり

患者サポートセンター長 佐藤 誠

北秋田市民病院では、令和元年4月1日より患者サポートセンターを開設いたしました。センター長を拝命いたしました佐藤誠です。下記に述べますとおり、当院のみならず当地域の医療福祉にとって、きわめて重要な部署である「サポセン」の代表となり身の引き締まる思いです。これまで別々の部署であった「医療福祉相談室」「がん相談支援センター」および「地域医療連携室」と、新設した「入退院支援室」を一つの部門として集約しました。

何のための一体化でしょうか。ここでは、看護師・医療ソーシャルワーカー・事務員が協働しています。紹介状をお持ちの患者さんの対応、入院前に必要な検査の説明と調整、医療費や復職などの心配ごとの相談、入院患者さんの退院支援などなど、病院で必要となる手続きや相談の多くをここで解決できるように、それが一体化の目的のひとつです。そのため患者さんやご家族が立ち寄りやすい2階フロアーに設置しています。是非お尋ねください。

また当地での中核病院として、地域の医療機関や介護福祉施設、在宅および行政との連携を継続し、強化していくための窓口もこの部門になります。地域包括ケアシステムの中で、中核病院に期待されていることに最優先で取り組めるよう、他機関との密な情報交換を進め役割分担ができるよう、スピード感と責任を持つこと、これも一体化の目的のひとつです。

私は昨年4月に18人目の常勤内科医として当院に赴任しました。長年の医師不足・スタッフ不足のもと、時には混乱の中で行われていた救急診療に主担当として関わらせていただいたことで、救急隊との勉強会開催や外傷対応の標準化、非救急搬送例のトリアージ導入など、医療安全と地域の安心に一定の効果を得られたと考えています。一方で、人生の終末期における状態悪化時の救急対応、感染症大流行時の受診行動の調整など、当院だけでは解決しない救急医療の問題点も明らかになってきています。

また外来診療においては、慢性的に長い待ち時間に関して、患者さん、ご家族、同伴される施設職員の方がたから恒常的に苦情をいただいていることも承知しています。当院常勤医やスタッフは他院と比べても少ない人数で献身的に精いっぱい業務をこな

北秋田市民病院は
「ダブル主治医」
を推奨しています!!

日常の診療を担う「かかりつけ医」と北秋田市民病院は、それぞれの役割を明確にし連携・協力して患者さんのその時々々の病態にあった適切な医療を提供していきます。地域の皆様にはお住まいの近くに「かかりつけ医」を持つことについて、当院の患者サポートセンターからご説明させて頂く場合があります。また、患者さんも「かかりつけ医」についてご不明な点があればご遠慮なくご相談ください。

患者サポートセンター
☎0186-62-7011 JA秋田厚生連 北秋田市民病院

しており、この問題の解決には、他医療機関や介護福祉施設と協力してダブル主治医制度（普段は近隣クリニックや施設嘱託医から定期診察と処方を受け、定期検査や体調不良時に必要に応じて病院を受診していただく）を徹底していく必要があると考えます。退院直後の不安定な患者さん、これから入院や手術などを控えている患者さん、特殊な病態の検査治療の方、定期検査で訪れた紹介患者さんなどの方々に適切で十分な医療を提供するために、地域の皆さんからのご理解とご協力をいただければと思います。「いざという時に心配」「どこにかかればいいのかわからない」といった心配があれば、いつでも当センターにご相談ください。

患者さんから、地域の皆さんから、「北秋田市民病院があるから安心」と言っていただけよう、時代とニーズに合わせた当センターの役割を果たしていきたいと考えております。

新医局員のご紹介



4月から歯科口腔外科で勤務させて頂いております。北秋田市民の健康増進のため少しでもお役に立てればと考えております。宜しくお願いします。

な り た の り ひ こ
歯 科 成 田 紀 彦



4月から整形外科医として勤務することになった岩本陽輔です。趣味は筋トレ、好きな食べ物はプロテインです。北秋田の皆さまの骨や関節、筋肉のお悩みに関して寄り添って治療していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

い わ も と よ う す け
整 形 外 科 岩 本 陽 輔



4月から赴任した外科の笹森と申します。まだまだ経験も浅く、皆さんから学ぶことの方が多いかと思いますが、ここの地域の方々を一人でも多く元気にできるように頑張りますので、どうかよろしくお願い致します。

さ さ も り り ょ う へ い
外 科 笹 森 凌 平



秋田市の出身で、県北地区には初めての転勤です。北秋田市の風土に早く慣れるよう、先輩方や地域の先生方からのご指導を頂きながら診療にあたりたいと思っています。よろしくお願い致します。

か さ わ た か や す
内 科 加 澤 隆 康



患者サポートセンターの紹介

この4月より、患者様が安心して医療を受け、住み慣れた地域で療養生活を送る事が出来る環境づくりの支援。患者サポート関連部門の集約化と外来診療エリアへの隣接化による利便性と効率性の向上を図ることを目的として、患者サポートセンターが開設されました。

がん相談支援センター、医療相談室、地域医療連携室、入退院支援室（新設）と訪問看護ステーションが同室内へ併設され一層連携が強化されました。また、相談室3部屋もプライバシーに配慮された環境となっており、各相談や入院オリエンテーション等で活用しております。

4月より患者サポートセンター長を兼任して頂いた循環器内科：佐藤誠診療部長と北秋田市の開業医や施設に御訪問させて頂き、患者サポートセンターの役割や情報交換等をさせて頂きました。また、7月1日は当院に於いて「施設職員との意見交換会」を開催しました。多数の参加を頂き感染研修会や北秋田地域の医療・介護について活発な意見交換ができた有意義な会となりました。今後も、皆様のご意見を頂きながら研修会・意見交換会を継続し、交流を深め実りあるものにしていきたいと考えております。

これからもスタッフ一同、患者様、ご家族が、安心・安全にその人らしい生活を送る事が出来る様、入院から退院までの支援や調整に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



患者サポートセンター(入退院支援室)
看護副部長 山田悦子

患者サポートセンター 令和元年度活動計画



「顔の見える」広報活動の推進

- ・ホームページや市広報への掲載
- ・広報誌「杜の風」の発行
- ・講演会の開催
- ・開業医や施設への定期訪問

地域完結型医療（地域包括ケアシステム）の推進

- ・多職種研修会や意見交換会の開催
- ・「ダブル主治医制」導入に向けた開業医との連携体制の構築



地域医療連携室

- ・紹介状及び返書管理の強化
- ・あきたハートフルネットの利用促進
- ・連携実績管理の強化

入退院支援室

- ・入院前支援の提供
- ・退院困難患者への介入強化
- ・効率的・効果的な病床管理

がん相談支援センター

- ・がん相談の利用促進
- ・がんサロンの運営

医療福祉相談室

- ・医療弱者への対応
- ・行政・福祉との連携



私のつぶやき

内科 安次嶺 拓 馬

我が家にはライオン、ゾウ、キリン、パンダなどなど動物園の人気者の動物がいます。また、ティラノサウルス、トリケラトプス、アンキロサウルスなどの様々な恐竜もいます。

と、言いますのも、私の息子たちには空前の動物・恐竜ブームが到来しているからです。

子供の興味を広げて、伸ばすことを目的に数年前に動物のフィギュアを買って見せたものの、あまり響かずにしばらくは箱の中に眠っていました。しかし、昨年大森山動物園へ行ってみたときには、今まで見向きもしなかったゾウやキリンたちを輝いた目で食い入るように見ている我が子たちの姿がありました。今では箱に眠っていた動物たちは、子供と一緒に布団で寝ています。

その変化こそ我が子の成長と感じられ、夫婦も揃って大森山動物園の年間パスポートを購入して、頻繁に…とまでは言えないまでも、時々動物園に行って、動物をみる子供の背中をみて楽しんでいます。



地域医療連携室 実績報告

当院との医療連携につきましては、日頃より格別のご高配を賜り、感謝申し上げます。平成30年度の実績がまとまりましたので、下記の通りご報告いたします。軽快した患者様については逆紹介の推進について、重ねてご協力をお願い申し上げます。

	平成30年度	前年比
紹介患者総数	2,378人	▲28
うち連携室で受け入れた患者数	846人	▲88
救急車による搬送患者数	1,266人	▲17
初診患者数	10,750人	▲405
逆紹介患者数	1,864人	238

一般診療科のご案内

(令和元年8月1日現在)

		月	火	水	木	金	受付終了時間等
内 科	午前	工藤研二 佐藤光 加澤隆康	辻野守泰 安次嶺拓馬 加澤隆康 弘前大学 (齋田啓資) (※第1,3火曜日 宣場広之)	工藤研二 辻野守泰 安次嶺拓馬 加澤隆康 佐藤光	工藤研二 安次嶺拓馬 佐藤光	辻野守泰 佐藤光 加澤隆康 弘前大学 (蔭山和則)	11:00 外勤：安次嶺医師 (第2・第4月曜日)
消化器内科	午前	安次嶺拓馬		安次嶺拓馬			11:00 月曜日は第1・3・5のみ 予約制
神経内科	午前	下村辰雄					11:00 予約制
精 神 科	午前		能代厚生 (佐藤 優真)	秋田大学 (増田 豊)			11:30 (新患受付は 11:00 まで)
	午後				八木澤究		16:00 (新患受付は 15:30 まで) ※診察時間 14:00 ~
循環器内科	午前	蒔苗 隆 秋田大学	蒔苗 隆 佐藤 誠	蒔苗 隆 東京女子医大 (小川 洋司)	秋田大学 (角 浜孝行) (佐藤 輝紀)	秋田大学 佐藤 誠	11:30 火曜日の蒔苗医師は 10:00 まで(再来のみ)
小 児 科	午前	野口博生	野口博生	野口博生	野口博生 秋田大学	野口博生	11:30
	午後	野口博生	野口博生	野口博生	野口博生 秋田大学	野口博生	13:00 ~ 15:30 ※診察時間 14:30 ~ 15:30
外 科	一診	宇佐美修悦	神谷 彰	笹森凌平	神谷 彰	宇佐美修悦	11:30 予約制
	二診	小林昭仁			※第2,4乳腺外来 秋大(寺田かおり)		完全予約制
整形外科	午前	相澤俊朗 岩本陽輔	相澤俊朗 佐藤 光	相澤俊朗 岩本陽輔	相澤俊朗 岩本陽輔	岩本陽輔 土江博幸	11:30 (火・水・木曜日は10:30まで) 予約制
形成外科	午前	弘前大学		弘前大学			11:30
脳神経外科	午前					秋田大学	11:00 予約制
皮 膚 科	午前		弘前大学			弘前大学	11:00
泌尿器科	午前	佐々木隆聖	佐々木隆聖	佐々木隆聖	秋田大学	佐々木隆聖	11:00 (木曜日は 10:30 まで) 月曜日の新患は紹介患者のみ 手術のため火・水曜日は9:30までの受付(再来のみ) 予約制
産婦人科	午前	秋田大学	秋田大学 (児玉英也)	秋田大学	秋田大学	秋田大学	11:30 (火曜日の診療医師は都合により変更の場合あり)
眼 科	午前			弘前大学 (工藤孝志)	弘前大学 (安達功武)		10:00 (水曜日は再診 10:00、新患 9:00 までの受付)
	午後					大館市立 (田名部玲子)	受付時間 13:00 まで ※診察時間 13:30 ~
耳 鼻 科	午後	能代厚生	秋田大学		秋田大学		受付時間 15:00 まで ※診察時間 14:00 ~
歯科口腔外科	午前	成田紀彦 弘前大学	成田紀彦 小松賢一	成田紀彦 小松賢一	成田紀彦 小松賢一	成田紀彦 弘前大学	11:00 完全予約制
	午後	成田紀彦	成田紀彦 小松賢一	成田紀彦 小松賢一	成田紀彦 小松賢一	成田紀彦	13:30 ~ 15:30 完全予約制

特殊診療科のご案内

特 殊 診 療	担当科	診 察 日	担 当 医 師
糖尿病外来	内 科	毎週金曜日 予約制	工藤 研二
腎 内 科 膠 原 病		第1水曜日	三木 一伸（能代厚生医療センター）
		毎週木曜日 予約制	齋藤 綾乃（秋田大学医学部附属病院）
呼吸器科		第2・第4水曜日 予約制	杉山 直幸（能代厚生医療センター）
		毎週火曜日 受付 10：30 まで 予約制	奥田 佑道（秋田大学医学部附属病院）
血液内科		第2・第4・第5金曜日 予約制	中山 勝敏（秋田大学医学部附属病院）
		第4火曜日 予約制	波多野善明（能代厚生医療センター）
内視鏡検査		毎週木曜日《午後》受付 14:30 まで 予約制	小林 敬宏（秋田大学医学部附属病院）
		毎週月曜日 予約制	辻野 守泰
		毎週水曜日 予約制	交 代 制（工藤胃腸内科クリニック）
	毎週金曜日 予約制	安次嶺拓馬	
禁煙外来	循環器内科	毎週金曜日	佐藤 誠
ペースメーカークリニック		毎週火曜日 午後 完全予約制	佐藤 誠
呼吸器外科	外 科	完全予約制	小川 純一
腫瘍内科		毎週金曜日 10：30 まで（外科二診） 予約制	（秋田大学医学部附属病院）
乳腺外来		第2・第4木曜日 完全予約制	寺田かおり（秋田大学医学部附属病院）
緩和ケア外来		第1・第3木曜日 14：00～16：00 完全予約制	宇佐美修悦・笹森 凌平
小児心臓外来	小児科	原則月1回《午後》 予約制	岡崎三枝子（秋田大学医学部附属病院）

あとかき

新しい職員を迎え、新しい診療科や部署が始まり、いろいろと変化する1年になりそうです。目まぐるしく変わる環境に負けないよう、気分転換の時間を作るのもまた技術が要るものです。編集部F